



早期開通を目指す
地域高規格道路『山陰近畿自動車道』国道 178 号
(岩美道路) 浦富インター付近

New Generation

業務案内 2020

地域と共に 心あわせて



境港に寄港したコスタ・ヴィクトリア号

公益財団法人 鳥取県建設技術センター

ご挨拶

公益財団法人鳥取県建設技術センターは、昭和57年に設立され、「公共工事等に関する発注者支援」、「建設資材の試験及び調査研究」、「技術研修」、「建設発生土の処分」の事業を柱に社会資本整備の推進と建設産業の発展のための事業を実施しております。

近年、建設産業では、ICTを活用する新技術の導入により生産性を向上させ、魅力ある建設現場の実現を目指す「i-Construction」の取組みが進められており、当センターにおきましても、ドローンを活用した測量データの3次元化や橋梁等の台帳管理・電子化等の取組みを進めて、より効率的な建設事業と生産性の向上に努めてまいります。

市町村における持続的な社会資本のメンテナンスを行う上で、公共インフラの老朽化や市町村の技術者確保が課題になっており、当センターでは、市町村の建設工事からメンテナンスまで総合的に支援するため、公共事業（工事の積算、現場技術業務、橋梁補修アドバイス業務）等を積極的に支援してまいります。

また、近年、全国的に大規模災害が頻発しておりますが、被災市町村から要請があった場合には、経験を生かし迅速で確実な災害復旧支援を行ってまいります。

地域の安全、安心を守る建設産業の担い手不足については、年々、顕著になっており、人手不足による様々な問題が表面化しています。担い手を確保するため、けんせつ絵本のおはなし会、職場体験、大学生、高校生向けに魅力発信ガイダンスなどを実施し、関係機関と連携しながら、担い手確保・育成のための事業を推進します。

今後とも、当センターの経営理念である「親切丁寧」、「敏速」、「正確」、「信頼」を胸（モットー）に、公益法人としての社会的責務を果たすため、さらなる技術力の向上に努めるとともに、より質の高い業務執行、発注者支援に努めてまいりますので、なお一層のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、今年は、新型コロナウイルス感染症により、経済活動にも支障がでてきております。医療関係者の皆様の労苦に感謝申し上げますとともに、早く収束するようお祈り申し上げます。



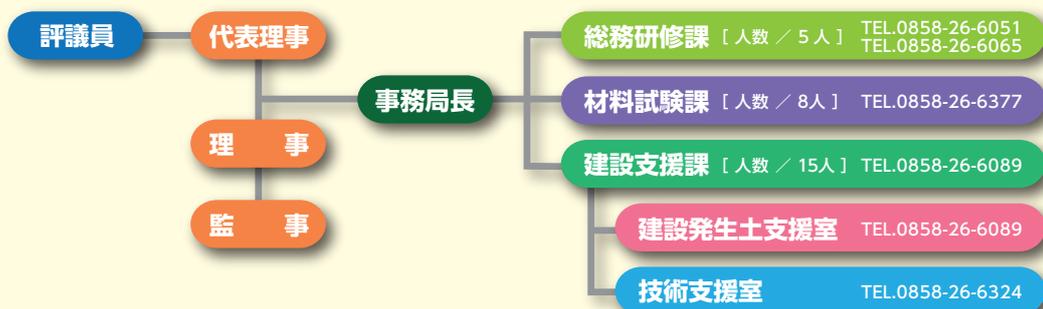
山陰海岸ジオパーク 浦富海岸

公益財団法人 鳥取県建設技術センター
代表理事 山田和成

■ 概要

名称	公益財団法人鳥取県建設技術センター	基本財産	8,900,000円(自己資本6,900千円)
設立年月日	昭和57年4月1日	所在地	〒682-0018 鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地

■ 組織図



技術者の育成と生産性を目指して

研修

コロナ禍により研修のWeb開催を始めました。
ご来場又はWebによる受講が選べる柔軟な受講スタイルは、業務時間の改善、効率化に繋がります。



Web受講の会場



講師、センター職員の様子



Web受講のようす

■現場管理ができる技術者の育成に関する研修
(基礎研修、ICT・パソコン、自然災害への対応、建築)

■品確法改正の背景や理念を踏まえた研修
(災害時の緊急対応の充実強化、働き方改革への対応、生産性向上への取組み、調査・設計の品質確保)

自主研修(48研修)、鳥取県からの受託研修(20研修)



丁張り研修のようす

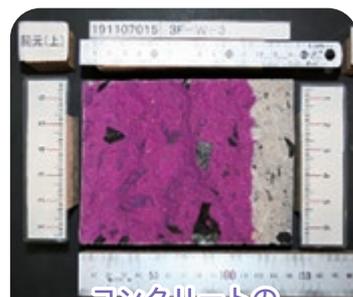
現場で役立つ実践的な研修を行っています。

試験

安全で良質な社会資本の整備のために



土の三軸圧縮試験



コンクリートの
中性化深さの測定

■建設材料の品質管理試験(6試験分類74試験項目)を行っています。

【骨材試験、コンクリート試験、鋼材試験、アスファルト試験、土質試験、水試験】

■当センターは、産業標準化法試験事業者登録制度(JNLA)に基づく登録試験事業所(ISO/IEC 17025(JIS Q 17025)に適合した試験事業所)、建築工事標準仕様書JASS5に示される第三者試験機関です。登録試験項目の試験成績書には、標章が付きます。

【JNLA登録試験項目】

骨材試験-5項目、コンクリート試験-3項目



主な試験項目

●コンクリートの品質管理試験

★新設コンクリートの品質管理試験

コンクリート	コンクリートの圧縮強度試験(JIS A 1108)
	コンクリートの曲げ強度試験(JIS A 1106)
	コンクリートの静弾性係数試験(JIS A 1149)
	長さ変化測定(乾燥収縮試験)(JIS A 1129-2)

★既存コンクリート構造物の劣化診断に用いる試験

コンクリート	コアの圧縮強度試験(JIS A 1107,1108)
	コンクリートの静弾性係数試験(JIS A 1149)
	コンクリートの中性化深さの測定(JIS A 1152)
	硬化コンクリート中に含まれる塩化物イオンの試験(JIS A 1154)
	コンクリートの残存膨張量試験(JCI法)
コンクリートの残存膨張量試験(アルカリ溶液浸漬法)	

●土工、補強土壁等の現場で必要な土質定数を求める三軸試験

土質	土の非圧密非排水三軸圧縮試験(UU試験)(JGS 0521)
	土の圧密非排水三軸圧縮試験(CU試験)(JGS 0522)
	土の圧密排水三軸圧縮試験(CD試験)(JGS 0524)

●吹付け工等の現場で練混ぜ水の品質を確認する水の試験

レディミキスト コンクリートの 練混ぜに 用いる水	懸濁物質の量	} (JIS A 5308 附属書C)
	溶解性蒸発残留物の量	
	塩化物イオン(Cl ⁻)量	
	セメントの凝結時間の差	
	モルタルの圧縮強さの比	

技 術 支 援

ICTを活用した持続的な社会資本の維持へ

総合的な発注者支援を行うため、県・市町村公共工事の積算補助、現場技術補助、工事検査補助、橋梁補修アドバイス業務、災害復旧の技術支援を行います。ドローンを活用した測量データの3次元化や橋梁等の台帳管理・電子化などICTを活用して技術支援の取組みを進めています。

橋梁補修アドバイス業務



現地診断のようす



橋梁の専門家による技術的アドバイス

橋梁の設計、製作、施工、補修を熟知した橋梁の専門家が、橋梁補修の委託費の算定から調査設計業務を進めるうえで、必要な技術的アドバイスを行います。また、橋梁関連の技術的アドバイスを含めた、積算補助業務、現場技術業務を行います。

災害復旧支援業務

災害発生時の被災状況調査、復旧工法等のコンサルタントとの協議、査定設計書作成、実施設計書作成及び現場技術業務等の災害復旧工事に係わる一連の作業を支援します。



ドローンによる現場確認



災害査定状況

工事検査業務

公共土木工事の完成検査業務を実施します。



積算、現場技術業務

公共工事の起工設計書作成、現場技術業務を補助し変更設計書を作成します。



渡漁港内水排除施設築造工事



積算業務

ドローンを活用した技術支援

公共施設の管理・点検補助、災害時の被災状況把握等、幅広い支援をします。



国道431号
(弓ヶ浜工区)
サイクリング
ロード



町道勸上野線
松ヶ丘橋
ひび割れ
診断業務

建設産業の魅力を発信しています



●鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会(発足H29.1.12)

各機関と連携しながら将来を見据えた持続可能な建設産業を目指し、担い手の確保・育成のための事業を推進していきます。

【事業内容】SNSを活用した情報発信、技術者リレーインタビュー、フォトコンテスト(小中学生)、職場体験(中学生)、魅力発信ガイダンス、UAV測量演習、CAD基本操作、土木積算、現場見学会、資格取得支援(高校)、リスクマネジメント講座(大学)、1級、2級土木施工管理技士資格取得支援(既就労者)

< 構成員 > 鳥取県県土整備部、鳥取県立産業人材育成センター、鳥取県教員委員会、鳥取県市長会、鳥取県町長会、国立大学法人鳥取大学、(一社)鳥取県建設業協会、(一社)鳥取県測量設計業協会、(公財)鳥取県建設技術センター
< 事務局 > (公財)鳥取県建設技術センター



中学生職場体験のようす(測量体験)
中学校職場体験学習を県内全域で行っています。



とっとり建設産業の 魅力発信講座のようす

(レオナルド・ダ・ヴィンチが考案したと言われる橋をつくって、渡る体験) 小中学生を対象に建設産業への関心や就業意識を高めるための講座を行っています。



Facebook QR→

●とっとり建設☆女星ネットワーク(発足H31.4.23)(会長 井中玉枝)

女性ならではの発想と感覚で、建設産業の魅力を発信して、次代を担う人材の地域定着を図り、建設産業の活性化や地域社会の発展のための事業を推進していきます。

【事業内容】けんせつ絵本のおはなし会&ワークショップ、SNSを活用した情報発信、現場見学会、意見交換会

< 構成員 > 建設産業に携わる女性 < 事務局 > (公財)鳥取県建設技術センター



けんせつ絵本のおはなし会
&ワークショップのようす



令和元年度 令和新時代創造県民運動
活動表彰最優秀賞受賞

R2年度の取組み

- WEBセミナー
- けんせつ絵本のおはなし会&ワークショップ
- 大判けんせつカルタ作成
- 建設現場ニコニコアップ大作戦(職場環境の改善)
- 土木♥土木(ドキドキ)デートスポット提案



Facebook QR→

●建設技術センターまつり

毎年10月、建設産業の魅力を発信し、業界全体のイメージアップを図る催しを関係機関と連携して行っています。



VR体験 3次元計測技術



はたらく車乗車体験



ドローンコーナー

発生土 受入

安全な建設発生土処理と跡地の有効利用

公共工事から発生する建設発生土の適切な処理及び有効利用を図り、公共事業の円滑な執行により社会資本整備の推進に寄与しています。建設発生土は、埋立や盛土の材料として土地造成などに利用できる再生資源です。



建設発生土受入事業所

【岩美第2事業所】(岩美郡岩美町宇治)(受入土量:20万m³、面積:4.0ha)※国道178号(岩美道路)の関連工事専用

跡地の活用事例

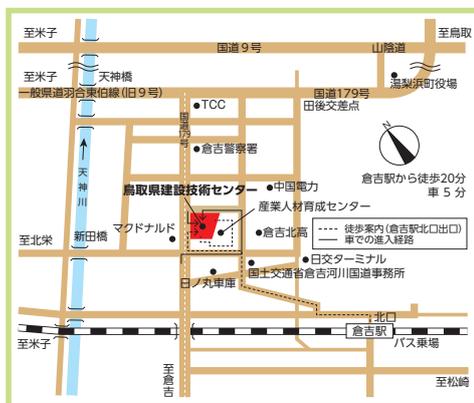


公益財団法人 鳥取県建設技術センター

〒682-0018 鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地
TEL.0858-26-6051
FAX.0858-26-6052



アクセス



フェイスブックで
情報発信
しています



- 総務研修課 / TEL0858-26-6051 FAX0858-26-6052
[研 修 ・ 図 書 / TEL0858-26-6065]
- 材料試験課 / TEL0858-26-6377 FAX0858-26-6052
- 建設支援課 / TEL0858-26-6089 FAX0858-26-6004
[建設発生土支援室 / TEL0858-26-6089]
[技 術 支 援 室 / TEL0858-26-6324]

